

掛川市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【調査ご協力をお願い】

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市ではこれまで、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりに取り組んでまいりましたが、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間の一期とする「子ども・子育て支援事業計画」を作成することといたしました（平成27年度から実施予定）。

そこで、この新たな計画を作成するに当たり、市民の皆様の子育ての環境、教育・保育・子育て支援の現在の利用状況および今後の利用希望などを把握するために本調査を行います。

この調査は、市内にお住まいの小学1～3年生の児童のいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただいた1,500人の方にご協力をお願いするものです。

なお、お答えいただいた内容は、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用することはございません。ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成25年12月
掛川市長 松井 三郎

【ご記入にあたってのお願い】

- 1.特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
- 2.なるべく子育てをしているご家族が話し合ってお答えください。
- 3.ご記入にはおおむね20分程度かかります。
- 4.ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合がございます。
- 5.選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。特に注意書きがない場合の回答は1つ、注意書きがある場合は注意書きに従ってください。また、「その他」等をお選びいただいた場合はその後にある()内に具体的な内容をご記入ください。
- 6.数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時→18時)でご記入ください。
- 7.設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 8.記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて平成26年1月9日(木)までに各小学校のクラス担任の先生へご提出ください。
- 9.ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

掛川市役所 福祉課 児童福祉係
電話：0537-21-1144

※年末年始(12/28～1/5)はお休みとなります。

回答するに当たってお読みください

あなたがお住まいの市町村では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成 27 年度から実施予定）。

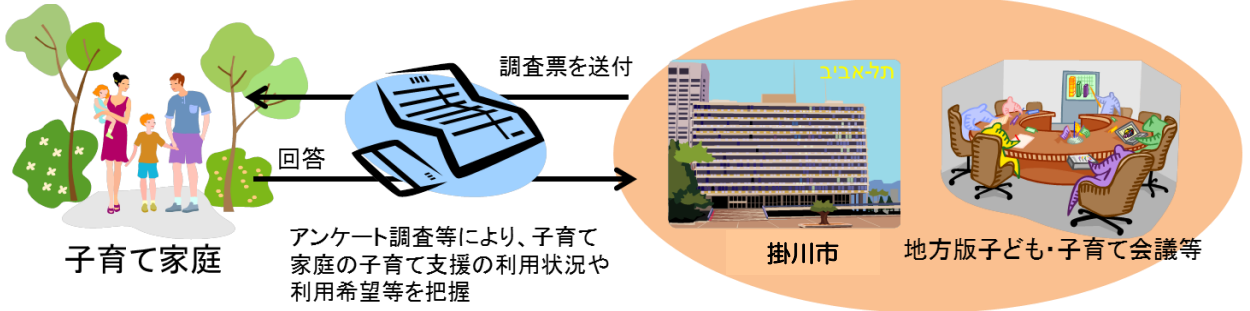
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

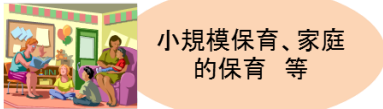
また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



調査等によって把握された利用希望等を考慮して、今後の計画を策定



放課後児童クラブ、地域子育て・支援拠点事業、一時預かり、病児・病後児保育等



市町村子ども・子育て支援事業計画 (5か年計画)

幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援について
・「量の見込み(現在の利用状況+利用希望)」
・「確保方策(確保の内容+実施時期)」
を記載

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|------------------|
| 1. 第一小学区・中央小学区 | 2. 東中学区（第一小以外） | 3. 西中学区（中央小以外） |
| 4. 北中学区 | 5. 栄川中学区 | 6. 桜が丘中学区・原野谷中学区 |
| 7. 城東中学区・大浜中学区 | 8. 大須賀中学区 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの平成25年4月1日現在の学年を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

小学 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問4 宛名のお子さんと同居・近居（普段よく使う交通手段で概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------|----------------------|----------------|
| 1. 父母同居 | 2. 父同居（ひとり親家庭） | 3. 母同居（ひとり親家庭） |
| 4. 祖父同居 | 5. 祖母同居 | 6. 祖父近居 |
| 7. 祖母近居 | 8. その他（ ） | |

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|----------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|----------------------|

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） | |

問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ **問11-1へ**

2. いない／ない ⇒ **問12へ**

問11-1 問11で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 小学校 |
| 7. 学校の先生 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他（ | ） |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|-------------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ (1)-1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ 問14へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1)-1 (1)で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む、休憩休息時間を含まない）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1週当たり

 日

1日当たり

 時間

(1)-2 (1)で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

家を出る時刻

時

分頃

帰宅時刻

時

分頃

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (2) -1へ

⇒ 問14へ

(2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む、休憩・休息時間を含まない）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり

日

1日当たり

時間

(2) -2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）

家を出る時刻

時

分頃

帰宅時刻

時

分頃

問13 問12の(1)または(2)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

アンケートは
半分を過ぎました。
がんばって!



宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問15 宛名のお子さんは、現在、「児童館・児童交流館」を利用していますか。どちらか1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 利用している 2. 利用していない
 1週当たり 日

問15-1 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 場所が遠いので利用しづらい 2. 開催時間や日数が利用しづらい
 3. 知人がいないので行きづらい 4. 知らなかった
 5. 利用する時間がない 6. 利用の仕方がわからない
 7. 親同士の付き合いがわずらわしい 8. 外出するのが面倒
 9. 子どもが大きくなって必要ない 10. 特に利用する必要性を感じない
 11. その他（具体的に ） 12. 特に理由はない

問16 児童館・児童交流館について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

①～③の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①家庭教育学級（幼保園・幼稚園）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②家庭児童相談（市役所・支所）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③掛川市教育センター（大東支所内）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問18 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていましたか。または、過ごさせたいと思いますか。現在の家庭状況を踏まえ、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、希望する週当たりの利用日数を数字でご記入ください。時間は（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

放課後児童クラブの場合は、利用を希望する時間もご記入ください。

1. 自宅	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
4. 児童館・児童交流館	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※	月 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input style="width: 20px;" type="text"/> → 下校時から <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> 時まで	
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい

※「放課後児童クラブ」……地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※「放課後子ども教室」……地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問19 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の家庭状況を踏まえ、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また希望する週当たりの利用日数を数字でご記入ください。時間は、（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

放課後児童クラブの場合は、利用を希望する時間もご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
4. 児童館・児童交流館	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室	月 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input style="width: 20px;" type="text"/> → 下校時から <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> 時まで	
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input style="width: 20px;" type="text"/>	日くらい

問20 問18または問19で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、具体的には何年生まで利用したいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | 2. 4年生まで利用したい |
| 3. 5年生まで利用したい | 4. 6年生まで利用したい |

問21 問18または問19で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 4年生までは利用したい 3. 5年生までは利用したい 4. 6年生までは利用したい 5. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
---	---	---

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 4年生までは利用したい 3. 5年生までは利用したい 4. 6年生までは利用したい 5. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
---	---	---

問22 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 4年生までは利用したい 3. 5年生までは利用したい 4. 6年生までは利用したい 5. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
---	---	---



アンケートはもう少し！！
 ファイト♪

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問23 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育所(園)などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
 15. その他 ()

問23で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問24へ

問23-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問23-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問23-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問23-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親		(2) 父親	
実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月
希 望	□ 歳 □ □ ヶ月	希 望	□ 歳 □ □ ヶ月

問23-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に、数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親	(2) 父親
□ 歳 □ □ ヶ月	□ 歳 □ □ ヶ月

問23-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問23-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみってくれる人がいなかったため	5. 子どもをみってくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

問23-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問23-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 短時間勤務制度を利用した	1. 短時間勤務制度を利用した
2. 短時間勤務制度を利用しなかった	2. 短時間勤務制度を利用しなかった

問23-6で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問23-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()	10. その他()

子育てに関する意識などについてうかがいます。

問24 理想の子どもの人数は何人ですか。また、現在いる子どもを含めて、現実的に子育てが可能と思われる子どもの人数は何人ですか。

理想の子どもの人数

人

現実的に子育て可能な子どもの人数

人

問24-1 問24で理想の子どもの人数より、現実的に子育て可能な子どもの人数が少ない方にうかがいます。理想の子ども的人数よりも、現実的に子育て可能な子ども的人数が少ない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 仕事と子育ての両立が難しいため
2. 自分達の自由な時間と育児は両立しないため
3. 子育ての心理的、肉体的負担を軽減するため
4. 子どもを欲しいが、年齢的に難しいため
5. 自分(配偶者)の健康上の理由
6. 末子が自分の定年までに成人しないため
7. 社会がたくさんの子どもを育てる状況ではないため
8. 子育てにかかる費用が大変なため
9. 家が狭いため
10. その他()

問25 子育てについて、日ごろ悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 子どもの病気や発育・発達に関する事	1. 子どもの病気や発育・発達に関する事
2. 子どもの食事や栄養に関する事	2. 子どもの食事や栄養に関する事
3. 子育ての方法がよくわからない事	3. 子育ての方法がよくわからない事
4. 子どもとの接し方に自信が持てない事	4. 子どもとの接し方に自信が持てない事
5. 子どもとの時間を十分にとれない事	5. 子どもとの時間を十分にとれない事
6. 話し相手や相談相手がない事	6. 話し相手や相談相手がない事
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできない事	7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできない事
8. 子育てにかかる費用が大きな負担になっている事	8. 子育てにかかる費用が大きな負担になっている事
9. 子どもの教育に関する事	9. 子どもの教育に関する事
10. 友達付き合い（いじめなど）に関する事	10. 友達付き合い（いじめなど）に関する事
11. 不登校に関する事	11. 不登校に関する事
12. その他（ ）	12. その他（ ）
13. 特になし	13. 特になし

問26 掛川市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 満足度が高い	2. やや満足度が高い
3. 普通	4. やや満足度が低い
5. 満足度が低い	

問27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
 同封の返信用封筒に入れて、1月9日(木)までに
 クラス担任の先生へご提出ください。